

産業技術大学院大学は「enPiT分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク」事業において 楽天と共同で教育プログラムを実施します

産業技術大学院大学（以下、「AiiT」）は、全国の15大学が中心となって実施する「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク（通称：enPiT）」事業のビジネスアプリケーション（BizApp）分野において、楽天株式会社（以下、「楽天」）と共同で課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）の教育プログラムを本年6月より実施いたします。

グローバル化やアジア諸国へのオフショア開発*1が著しく進む昨今、情報の分野において、新しいビジネスモデルを構築できる技術者が求められています。また、アジャイル型開発手法の急速な普及に伴い、IT系のモノづくりに対応できる人材の育成は急務とされています。

今回、AiiTが楽天と共同で取り組む教育プログラムは、アジャイル型開発手法に基づいたWebアプリケーション開発ができる技術者の育成を目指すものです。具体的には、楽天の技術理事 吉岡 弘隆氏を客員教授として迎え、楽天が提供する豊富なWeb API*2を活用した新しいWebサービスを企画・開発することをテーマとしたPBLを実施します。開学以来、PBLを推進してきたAiiTのノウハウも最大限に活かした、特色のあるプログラムとなります。

また、テレビ会議を活用して琉球大学（沖縄県）の大学院修士課程の学生とも、遠隔でPBLを実施する予定です。なお、本教育プログラムは社会人の方も受講することができます。

*1 システム開発・運用管理などを海外にある事業者や子会社へ委託すること

*2 Webサイトの開発などを効率的に行う技術のこと

本教育プログラムの詳細については、別添資料を参照ください。

□ 産業技術大学院大学

所在地：東京都品川区、学長：石島 辰太郎。
公立大学法人首都大学東京が設置する公立の専門職大学院。産業の活性化に資する業務遂行能力を持つ高度専門職人材の育成を目的とし、様々な産業振興にも取り組んでいます。

【URL】<http://aiit.ac.jp/>

□ 「enPiT」とは

文部科学省「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」の一環とし、大阪大、東京大、東京工業大、神戸大、九州工業大、情報セキュリティ大、東北大、北陸先端科学技術大、奈良先端科学技術大、慶應義塾大、九州大、名古屋大、筑波大、はこだて未来大、産業技術大学院大学が連携して実施する情報技術人材育成事業です。

【URL】<http://www.enpit.jp/index.html>

【問い合わせ先】 産業技術大学院大学管理部管理課
電話 03-3472-7831 Fax 03-3472-2790

受講生募集

世界に通用する技術者を目指そう

enPiT-BizAppでは、他大学の仲間と学びの場を共有し、短期集中合宿やグループワークを通して、産業界が求めるリーダーシップ力やチームマネジメント力などを習得することができます。将来、社会で活躍する際に必要なスキルを磨く絶好の機会です。皆さんの受講をお待ちしています。

参加大学募集

知見を蓄積、共有することで実践的な教育を実施します

enPiT-BizAppでは、連携大学が開講するカリキュラムを受講することができます。また、指導者である先生方にはPBLの実施ノウハウや基礎知識を習得するための教材や研修等の機会が提供されます。自学の学生育成と若手教員育成に関心がある大学はenPiT-BizAppの活動にぜひご参加ください。

連携企業募集

次代を担う人材をいっしょに育ててみませんか

enPiT-BizAppでは、専門的知識に加え、チームワーク・コミュニケーションスキルを有する実践力を備えたリーダーを育成します。この育成の過程で企業に直接関わっていただくことは、より効果的な育成プログラムを実現する上で不可欠です。連携企業としての参加をお願いします。

●アクセスマップ



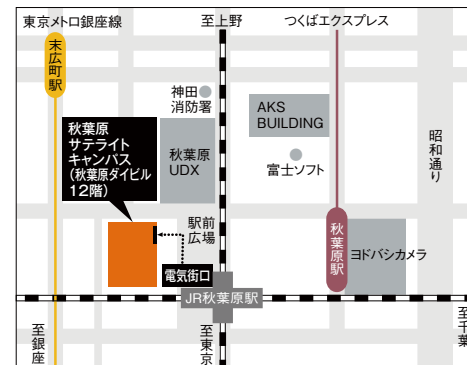
■本校最寄駅
りんかい線／品川シーサイド駅下車 徒歩3分
京浜急行本線／青物横丁駅下車 徒歩10分
京浜急行本線／鮫洲駅下車 徒歩9分

■都営バス
都立産業技術高専品川キャンパス前下車 徒歩2分
品川駅東口
[品91系統]
八潮パークタウン
品川駅前
[品93系統]
大井競馬場
大井町駅東口
[井92系統]
八潮パークタウン

■品川シーサイドキャンパス



■秋葉原サテライトキャンパス



■秋葉原サテライトキャンパス最寄駅
JR山手線、京浜東北線、総武線／秋葉原駅下車 徒歩1分
つくばエクスプレス／秋葉原駅下車 徒歩2分

●もっと詳しい情報は WEB サイトで!

enPiT ビジネスアプリケーション分野
<http://bizapp.enpit.jp/>



産業技術大学院大学WEBサイト
<http://aiit.ac.jp/>



●お申し込み・お問い合わせは

産業技術大学院大学 enPiT事務局

〒140-0011 東京都品川区東大井一丁目10番40号
産業技術大学院大学内 enPiT 事務局
(管理部管理課OPI企画運営係)
TEL : 03-3472-7833 / FAX : 03-3472-2790
E-MAIL : opi@aiit.ac.jp

文部科学省 情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業

分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク
ビジネスアプリケーション分野

先端情報技術を有機的に活用した、
実践的問題解決能力を有する人材を育成するプログラム



産業技術大学院大学

ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY

先端情報技術を有機的に活用した、実践的問題解決

エンピット

enPiT ビジネスアプリケーション分野は、進化を続ける先端情報技術や情報インフラを有機的に活用し、産業界が求める実践的問題解決能力を有する人材を育成するプログラム。



産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻・専攻長 教授 酒森 潔

ビジネスアプリケーション分野は、先端的な情報技術を使って実際の世の中のニーズに応え、問題解決を行える人材の育成を目的としています。この目的達成のために筑波大学、公立はこだて未来大学、産業技術大学院大学がお互いに連携しながらそれぞれの大学の特徴を生かしたプログラムを実施します。その中で産業技術大学院大学は、社会人が学ぶ専門職大学院としての特徴を活かし、企業に勤めながらも学ぶことができるカリキュラムを提供します。プログラムの流れは、基礎知識学習、短期集中合宿、分散PBLと3段階で進められますが、ほとんどの講義を夜間と土曜日に開催するなど社会人に便宜を図ります。基礎知識学習では必要な講義を受講したり、e-Learning形式で録画された講義を受講することもできます。そして短期集中合宿でビジネスアプリケーションの基本を学び、10月から3か月間の分散PBLで実践します。分散PBLでは、アジャイル開発を通して実際の大手企業のWebシステムを利用したアプリケーション開発を実施することで、実践的な問題解決ができる人材を育てます。

概要

enPiTは日本国内の15大学が連携して実践的な人材育成を推進する教育ネットワークです。情報技術の中から、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの4分野に焦点を絞り、複数の大学が連携して教育を行います。産業技術大学院大学は、筑波大学、はこだて未来大学とともに、ビジネスアプリケーション分野を担当します。ビジネスアプリケーション分野では、進化を続ける先端情報技術や情報インフラを有機的に活用し、潜在的なビジネスニーズや社会ニーズに対する実践的問題解決ができる人材の育成を目指します。enPiTのプログラムは主に博士前期課程1年生を対象にしていますが、それ以外の学年の学生も履修することが可能です。また、他大学の学生にも所定の手続きをすることで履修の道が開かれています。カリキュラムは、1週間の夏季集中合宿（夜間と土曜日に開催）と合宿後に分散して実施するプロジェクト型学習（PBL）が中心で、これらをより効果的なものとするために、基礎知識を学ぶための事前学習科目やプログラミングの集中合宿も用意しています。

育成する人材

進化を続ける先端情報技術や情報インフラを有機的に活用し、潜在的なビジネスニーズや社会ニーズに対する実践的問題解決ができる人材。

プログラムの流れ



分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク(enPiT)の受講生募集について

1. 対 象

大学院修士(博士前期)課程1年生を対象にしているが、それ以外の学年の学生や社会人も履修が可能である。

2. 参加条件

以下の項目のいずれかに該当する方が対象

- ① 情報系の大学院に在籍している。
- ② 情報系の学部レベルの基礎教育を習得している。
- ③ 情報システムの開発に関する実務経験を有する。

3. 修了要件

短期集中合宿として開催される「ビジネスアプリケーション特論」及び分散PBL方式で開催される「ビジネスアプリケーション特別演習」の修了を要件とする。

なお、プログラム修了者には、修了証を交付する。

4. 2013年度のスケジュール ※印は、楽天株式会社との共同科目

① 事前学習(6月～8月)

短期集中合宿への参加に備えて、必要に応じ各自が産技大正規科目を履修し、ソフトウェア開発の事前学習を行う。なお、事前学習科目の受講はenPiTプログラムの修了要件ではない。

【事前学習科目】

- ・システムプログラミング特論 ・情報システム特論
- ・情報アーキテクチャ特論 ・コビキタスプラットフォーム論
- ・情報システム構築プロジェクトマネジメント論 ・eビジネス論
- ・アジャイル開発手法特論

② 短期集中合宿(8月～9月)

ビジネスアプリケーション開発に必要な知識を、合宿形式で集中的に学ぶ。

- ・ビジネスアプリケーション演習(選択科目)
- ・ビジネスアプリケーション特論(必須科目)※

③ 分散PBL(10月～12月)

チーム単位での分散PBLにより、ビジネスアプリケーション開発の実践力を修得する。

- ・ビジネスアプリケーション特別演習(必須科目)

2つの分散PBLコースを開設。受講者はいずれかのチームを選択。

①スクラムによるWebアプリケーション開発コース※ ②グローバルサービスアプリケーション開発コース

5. 募集人数

15名

6. 受講料

無料

※ただし、「AIIT単位バンク登録制度」により、産業技術大学院大学の科目等履修生として修得した単位の蓄積を希望される方は、既定の授業料をお支払いいただく。別途「AIIT単位バンク登録制度」への出願、登録が必要となる。

7. 募集スケジュール(予定)

平成25年5月初旬から	募集要項の配布
平成25年5月31日	願書受付締切
平成25年6月7日	受講者決定通知
平成25年6月12日	事前学習科目初回開講